

岐阜県環境保全モデル林 第3号
土岐市高山城跡の環境保全に関する協定締結式



県と協定を交わした土岐市の加藤靖也市長（右から2番目）ら＝県庁で

「高山城跡の森」整備へ

毎日
6月9日

県と土岐市協定 環境保全モデルに

県は、土岐市土岐津町の「土岐高山城跡の森」（10・81畝）を環境保全モデル林として整備する。完成予定の来春には同市に引き渡し、地元住民グループが市と協働して活用・管理していく。8

日、県と市が県庁で協定を結んだ。里山再生の新たな手法確立を目指し、県が2012年度から「森林・環境税」を活用して実施している「環境保全モデル林」整備事業の第3号。昨年度の

選定を踏まえ、地元と整備計画づくりを進めてきた。計画によると、広葉樹林をはじめ、散策路や展望休憩施設、トイレなどを整備。史跡巡りに訪れる観光客が散策し、子どもた

ちが環境学習を行う場として活用を図る。整備費は約5000万円、年間約8000人の利用を想定している。瀬上繁隆・県林政部長は「この森には歴史

的資産が多い。観光客も巻き込んだ里山再生を」とあいさつ。土岐市の加藤靖也市長は「地域活性化につなげたい」、管理・活用団体の一つで高山城高山歴史保存会の西尾正之会長も「土岐の財産、観光拠点となるよう頑張る」と意気込んだ。

一方、森林・環境保全に向けては同日、スーパーマーケットなどを展開する「バロー」（本部・多治見市）と、サントリーグループ2社（いずれも本社・東

京）が181万8197円を県に寄付した。対象商品を1本販売するごとに1円を県に寄付するキャンペーンをバローのスーパー全233店舗で3～4月に共同実施していた。県は寄付金を森林づくりや環境保全に活用する考え。感謝状を受け取ったバロー販売促進部の吉村伊智雄部長は「地域の皆さんに森の大切さを伝えていきたい」と述べた。

【岡正勝】

穴弘法 もみじと 100地蔵のライトアップ

11月14日(土)~23日(祝)
午後6時~9時

雨天の場合は中止

野外コンサート(穴弘法広場)

- | | | |
|--------|------------------------------------|---------------------------|
| 15日(日) | 田中やすし
(ギター&歌唱) | 午後6:30~
7:30~ |
| 21日(土) | やゆ Fish
(昭和歌謡と民謡) | 午後6:30~
7:30~ |
| 22日(日) | 高山城戦国武将隊
廣瀬 豊(篠笛奏者)
高山城戦国武将隊 | 午後6:30~
7:00~
7:30~ |

主催 土岐里山の会
後援 高山区自治会 高山城高山宿史跡保存会
協賛 古城山稻荷奉賛会 穴弘法女性の会
妙光山慈徳院

ローソクに照らされる石仏群



駐車場 穴弘法30台 バロー駐車場

お問合せ先 土岐津公民館 (TEL0572-54-8338)

もみじまつりの開催
H27・11・14(日)～11・23(祝日)



静寂な落葉の境内



参拝者の灯明で照らされたお地藏様



水面に映えるライトアップもみじ



やゆFishのエネルギッシュな民謡演奏



演奏を聞き入多くの観客

撮影:土屋 昭